

2026年3月17日

報道関係各位

## 上智大学と三谷商事株式会社、学習行動データを活用した学生支援に関する共同研究を開始 —学習ログ分析と早期支援のあり方を共同で探究—

上智大学（所在地：東京都千代田区、学長：杉村 美紀）と三谷商事株式会社（本社：福井県福井市、代表取締役社長：三谷 聡）は、2026年4月より、学習ログの活用による学生支援の高度化を目的とした共同研究を開始します。本研究では、三谷商事が開発した学習分析システム「CampusLA」を活用し、学生の学習時間の推定および必修科目におけるドロップアウト（履修放棄・単位未修得）を防ぐための早期支援が、学習成果にどのような影響を与えるかを検証します。

### ■共同研究の背景

近年、高等教育機関では、学習ログ（学習時間、教材閲覧、課題提出状況、テスト履歴等）を活用し、学生のみずきを早期に把握して必要な支援につなげる取り組みが求められています。しかし、その判断基準となる学習行動データの取得や分析には専門的な仕組みが必要とされ、十分に活用しきれていないケースも少なくありません。

こうした状況を踏まえ、上智大学（研究担当：理工学部情報理工学科 田村 恭久教授）と三谷商事株式会社は、学習ログを精緻に可視化・分析できる環境を活用し、学生支援に資する効果的なデータ活用方法の確立を目的とした共同研究を実施する運びとなりました。

### ■研究の概要

学習時間の推定方法および、必修科目におけるドロップアウト防止のための早期介入が、学修成果に及ぼす影響を検証します。

#### 1. 学習時間の推定方法の検証

LMS ログ、資料閲覧、課題提出、テスト回答時間等の行動データを用い、学習時間推定の精度向上を図ります。

#### 2. 必修科目におけるリスク学生の早期抽出

学習時間や提出状況、テスト結果など複数の指標を組み合わせ、リスクの高い学生の早期把握を試みます。

#### 3. 早期介入とその効果測定

教員によるメッセージ送信や面談案内等の支援を実施し、介入前後における学生の行動変容や学修成果の変化を検証します。

## ■両者の役割

- ・上智大学：授業運営、学習ログ収集、学生支援、教育効果の検証
- ・三谷商事株式会社：学習分析システム「CampusLA」の無償提供、分析基盤提供、研究支援

## ■今後の予定

2026年4月より1年間の試験運用およびデータ分析を実施し、その成果については学会発表や報告書の形で共同発信する予定です。

## 上智大学について

1913年にカトリック・イエズス会によって創立。理系含む9学部29学科を要する総合大学。世界87ヶ国・地域の400超の大学と協定を結び（26年3月現在）、教育研究活動を展開。英語学位プログラムや多彩な留学プログラムの提供、国際機関や国内外の企業との協働など、特色あるグローバル教育を展開する。

[www.sophia.ac.jp](http://www.sophia.ac.jp)

## 三谷商事株式会社について

1914年創業、東証スタンダード上場。情報システム関連、建設関連、エネルギー関連など多角的な事業を展開する総合商社。文教分野では大学向けICTソリューションを提供し、学習分析システム「CampusLA」などを通じて教育DXとデータ活用による教学改善を支援している。

[www.mitani-corp.co.jp](http://www.mitani-corp.co.jp)

## ■本リリース記載の研究内容に関するお問合せ先

上智大学理工学部情報理工学科

教授 田村 恭久

Email: [ytamura@sophia.ac.jp](mailto:ytamura@sophia.ac.jp)

## ■報道関係のお問合せ先

上智学院 広報グループ

Email: [sophiapr-co@sophia.ac.jp](mailto:sophiapr-co@sophia.ac.jp) TEL: 03-3238-3179

三谷商事株式会社 情報システム事業部

Email: [edu-info@mitani.co.jp](mailto:edu-info@mitani.co.jp) TEL: 0120-188-022